

# アル・アクサ洪水第507日：イスラエル、第1段階延長を求める | ハマス「抵抗は正当」

Palestine Chronicle、2025年2月24日、脇浜義明訳



西岸地区ではイスラエルによる大規模な破壊が続いている。(Photo: via PalPost)

## 主要事項

\*ハマスは、イスラエルが捕虜交換合意による第7次パレスチナ人囚人の釈放を延期したため、イスラエルとの交渉を中断した。

\*イスラエルは西岸地区への攻撃をエスカレート、ジェニンでは少なくとも120軒の家屋が破壊された。

## 最新情報

2月25日 2:15am (パレスチナ時間)

\*アル・マヤディーン：ガザの患者の友病院のサイド・サラーフ医長は寒さで体温の低下で3人の子どもが死亡したと報告した。

2月25日 1:08am

\*パレスチナ・メディア (地元情報を引用)：イスラエル占領軍はジェニンの南のカバティアから故障したブルドーザーを引き揚げた。

\*イエディオト・アハロト：仲介国は懸命に捕虜交換合意の実行を説得している。誰も事態がエスカレートしてすべてが破算になることを望んでいない。

\*ハマス声明：ハマスは、2月24日のニューヨークタイムズに掲載されたムーサ・アル・マルズーク博士 (ハマスの初代政治局長) のインタビューで、博士の発言とされるものがまったく不正確であると批判した。インタビューは数日前に行われたもので、記事になったとき、発言を脈絡から切り離し、意図的に博士の発言の内容を誤っ

て伝えていることを明らかにした。アブ・マルズーク博士は、10月7日作戦は封鎖と占領と入植地に抵抗するパレスチナ人の正当な権利を表したもので、正しいレジスタンスだと強く言主張した。博士はイスラエル占領軍はガザの人々を大量虐殺する戦争犯罪を犯しており、国際法に違反し、国際社会にショックを与えていると繰り返した。ハマスはパレスチナの全面解放を勝ち取るまであらゆる形で抵抗する権利、とりわけ武装闘争をするパレスチナ人民の権利に立脚する強い姿勢を再び明確にした。アブ・マルズーク博士はレジスタンスはパレスチナ人が自らと聖地を守る武器であることを強調した。パレスチナ人が占領され抑圧されている限り、この武器を放棄することはないし、交渉で武装解除することはないと強く言った。

**2月24日 9:45 pm**

\*ハマスのハーゼム・カーセム報道官：我々はレジスタンスという武器を正当な権利として保持する。ニューヨークタイムズがムーサ・アブ・マルズークの発言として捻じ曲げて報道したものは我々の姿勢ではない。ガザ破壊の原因はイスラエル軍の攻撃と破壊行為であり、それを現在西岸地区で続けている。10月7日のアル・アクサ洪水作戦はパレスチナ人の民族解放闘争の戦略的転換点となる。あらゆる形のレジスタンスは、パレスチナの解放と人民が故郷へ戻るまで続ける正当な人民的権利である。

\*チャンネル13：シン・ベト長官と軍の交渉団幹部は、ネタニヤフ首相に約束どおりパレスチナ人囚人を釈放しないのは危険を招くと警告した。

\*WALLA（イスラエル政府高官を引用）：イスラエル政府は井戸に石を投げ込み、今それを回収しようとしている。政府閣僚の中には、人質を無事に取り返すことよりも、人質解放の時にハマスが行う式典の非難に力点を置いている。ネタニヤフは戦争を終わらせないでもっと多くの人質を取り返すような新同意をハマスと結びたがっている。ハマスの方は交渉の延長に同意するかもしれないが、要求を増やし、譲歩を少なくするだろう。イスラエル政府は戦争終結宣言を拒否しているが、ハマスに何某かの代償を支払わなければならない状態だ。

\*チャンネル12：イスラエルではガザ停戦の第二段階の交渉を始める用意が進められているが、イスラエル側はガザの政治的処遇を新たに提案するつもりである。

\*カン：イスラエル公共放送協会（カン）は、情報筋からの情報として、政府はガザ戦争を終わらせないでガザ停戦を延長することを望んでいると伝えた。

\*EU 外交政策委員：我々はイスラエルを含む関係者すべてに国際法遵守を呼びかける。我々は脆弱なガザ停戦を支持する。また我々は西岸地区に関する懸念を隠すことはできない。パレスチナ人はガザで生活することができなければならない。ガザ停戦をしっかりと実施することが人質解放の基礎である。

**2月24日 7:07 pm**

\*ヒューマン・ライツ・ウォッチ：ヨーロッパ諸国の外務大臣はイスラエルのギデオンのサル外務大臣と会談するとき、イスラエルの恐ろしい犯罪を非難すべきである。ヨーロッパがイスラエルの恐ろしい犯罪を非難しないことがイスラエルの犯罪行為に油を注ぐことになり、ヨーロッパの二重基準批判を招いているのだ。

\*ハーバードーハリス世論調査：米国民の54%がトランプ大統領のガザ戦争への対応に賛成している。米国のガザ統治を間違いだと思う米国人は70%である。

**2月24日 5:26 pm**

\*イスラエル・メディア：元安全保障大臣のイタマル・ベン・グヴィルは、捕虜交換は無謀で、「テロ」に酸素を供給するようなもので、ガザからのロケット攻撃、イスラエル内のバス爆破テロを招くだけだと言った。

\*イスラエル軍：イスラエル軍はガザからロケット一発が発射されたのを検知したが、ロケットはイスラエルに届かずガザ回廊内に着地した。詳細は調査中。

\*スモトリッチ財務大臣：我々が適切な時期に決意してガザを占領する軍事行動を起こせば、驚異的な規模となるであろう。次期幕僚長となるエーヤル・ザミールの指導とトランプ米大統領の政治的支援によって、イスラエル軍はこれまで以上に破壊力を発揮する作戦を行うだろう。

\*ベニー・ガンツ：捕虜交換第一段階の延長と政府の延命のための予算案成立を結びつけるのは、正気の沙汰ではない。西岸地区と国境地帯にもっと増援軍を送り込んで戦いを強化すべきだ。

**2月24日 3:34 pm**

\*イスラエル・メディア：イスラエル占領軍の戦車がジェニン侵攻を続けて、ジェニン難民キャンプ近くのジャブリヤートに陣営を形成した。

\*アル・ジャジーラ：イスラエル軍はジェニン難民キャンプの家を一軒焼き払った。

**2月24日 2:16 pm**

\*イエディオト・アハロト：イスラエルは、ハマスが以前のように「屈辱的な式典」をしなければ、今日4人の人質の遺体と引き換えに遅らせていたパレスチナ人囚人を釈放する用意があると言っている。

\*パレスチナ囚人クラブ：イスラエル占領軍は、西岸地区北部への侵攻開始以降、ジェニンとトゥルカレムで365人のパレスチナ人を逮捕した。

\*マアリブ：マアリブ紙：元戦時内閣のメンバーだったガディ・エイゼンコットが、政府指導部を入れ替えなければ戦争に勝てないばかりかイスラエルの国家存続も危うくなると警告した。

\*ヌール・シャムス難民キャンプ委員会：ほぼ一月前から始まったイスラエル軍の侵攻でキャンプ内で10軒以上の家が破壊された。イスラエル軍はほぼ9000人をキャンプから追い出した。そしてキャンプの生活インフラを完全破壊した。

\*イスラム聖戦：イスラエル占領軍が西岸地区で戦車を使っているのは抑圧道具としてであり、3カ所の難民キャンプから難民を追い出したのは西岸地区の軍事支配を強化するためだ。

\*ピース・ナウ（パレスチナとの平和共存を訴えるイスラエルのNGO）：最高計画評議会は西岸地区に1,170戸の入植地建設を26日に承認する予定。

\*カン：カンはイスラエル大統領イツハク・ヘルツォグが「人質全員を取り返すべきで、それは我々の倫理的・国家的責務である」と言ったことを報道した。

**2月24日 12:46 pm**

\*イスラエル・メディア：イスラエル・カツツ外務大臣は、人質の返還なくしてはガザ戦争は終わらないと力説して、政府は捕虜釈放合意を続行する気持ちだと言った。

\*トルコのメディア：トルコのハカン・フィダン外務大臣は「我々はネタニヤフがガザ戦争に戻ろうとしていることを懸念している。また西岸地区の軍事行動をやめるようにネタニヤフに要請している。我々はガザの住民の移転に絶対反対である。イスラエルは軍事力に依存して中東の諸国家を弱体化する計画を発展させようとしている。それは中東地域を混乱させるだけだ。

\*アル・クッズ旅団ジェニン大隊：我々はシラット・アル・ハリティヤの入口でイスラエル軍パトロール隊を仕掛け爆弾で攻撃し、死傷者が出たのを確認した。さらに銃撃戦を行い何人かを死傷させた。

\*スペイン・メディア：スペインのホセ・アルバレス外務大臣は、スペインは二国解決案を強く支持し、東エルサレムを首都とする持続可能なパレスチナ国家樹立を認めるべきだという立場であると言った。

\*イスラエル・メディア：人質の父親タミール・ニムローディは、「私たちは心配し緊張しています。特に政府の姿勢を耳にするときにそうなります。私は息子が生きていますかどうか、2023年10月7日以来、まったく消息を聞かされていません。

\*アル・ジャジーラ：イスラエル軍はガザ市の東部地区でパレスチナ人を銃撃した。

\*アル・ジャジーラ：イスラエル軍戦車と無人機がラファ中部のアル・アウダ広場近くを砲撃した。

**2月24日 9:45 am**

\*ジェニン市役所：イスラエル占領軍はジェニン難民キャンプで120戸の家を完全破壊し、数十戸の家と施設を半壊した。さらにジェニン市街と周辺の村でパレスチナ人を逮捕している。

\*チャンネル12：チャンネル12はハマスから解放された人質のアリヤ・コヘンが、自分がいたトンネルがイスラエルの空爆で崩れて、危うく死ぬところだったと話すのを報道した。

\*イスラエル・メディア：ネタニヤフ首相と安全保障関係幹部の間で、2023年10月7日の失策と捕虜交換をめぐる、論争がエスカレートしている。

\*パレスチナ・メディア：2023年10月7日からイスラエルのガザ攻撃が開始されて以来、学校と大学の教育活動は完全にストップし、学生たちは2023～2024年学期を完全に失い、このままだと2024～2025年学期も失いそうである。昨日教育省は、教育施設と学校の広範な破壊にもかかわらず、いくつかの地点で教育を徐々に再開させると発表した。

\*CBS：トランプ大統領が以前ガザ・パレスチナ人を移住させる提案をしたけれど、トランプの中東特使のステイヴン・ウイトコフはパレスチナ人のガザの村や町に帰るドアを開けた。「住民が村や町に帰ることには問題があるとは思わない」とウイトコフは言った。そして、ガザの再建には15年以上かかるであろうとも述べた。